2018 ひろしま健康経営応援キャンペーン

職場の元気は 地域の元気

従業員の健康を守る「健康経営」を実践する企業が、広島県内で増えている。働き手の活力向上が企業の業績アップにつながるなどの効果が期待されている。県の健康寿命（2016年）は男性71・97歳、女性73・62歳。男性は全国27位、女性は46位と低位にある。健康増進への機運を高めようと中国新聞社は、広島県と協力して「ひろしま健康経営応援キャンペーン」をスタートさせた。第一回は湯崎英彦県知事、広島大大学院医歯薬保健学研究科の森山美知子教授、全国健康保険協会（協会けんぽ）広島支部の神田和幸支部長に、県民の健康状態や施策、健康経営の必要性を聞いた。

広島県知事 湯崎英彦氏
健康経営は働き方改革 企業の取り組みに期待

―県の健康寿命が伸び悩む原因、対策は。

特定健診の実施率や運動習慣のある人の割合が、全国平均に比べて低いことが原因として考えられます。施策として、県は2003年に打ち出した、健康づくりの基本計画である「健康ひろしま21」を昨年見直し、本年度は新たな目標を盛り込みました。病気や加齢による自立度の低下を防ぐことを共通のテーマに掲げ、「健康寿命の延伸」を総括目標として取り組んでいきます。「食事、運動、禁煙、口腔（こうくう）ケア、検診受診」の項目で取り組みを進めています。

―重点的に進めていく取り組みは。

「介護予防の推進」として、健康寿命と相関関係のある「要支援、要介護1」の認定率を下げることを目指します。住民が主体となり、体操や食事をふるまう「通いの場」を地域に設置し、拡充支援をしています。高齢者の孤立を防ぎ、心身ともに健康になってもらうのが狙いです。

また、がん検診受診率アップにも力を入れています。広島県のがん罹患者は、全部位で約2万人（2012年）。検診受診率は各部位40％前後で全国と比べても低い。受診率を上げるため、アーティストのデーモン閣下を啓発特使に迎え、キャンペーンを展開した結果、認知度が高まり、受診率も上がりつつあります。「Teamがん対策ひろしま」では、企業と連携し、従業員のがん検診の受診率向上やがん罹患（りかん）者の就労支援、県民への啓発などを推進しています。

―健康経営を取り組む企業に期待することは。

健康経営は、生産性や企業価値を高めるだけでなく、働き方改革や人材確保にもつながります。本年度、県は企業と連携して、従業員の特定保健指導実施時に健康データを取得し、メールなどの自動返信アドバイスにより生活習慣の改善を図る取り組みを実施しています。従業員の健康づくりは県民の健康づくりでもあるので、取り組む企業がさらに増えるよう、応援していきたいです。

広島大大学院医歯薬保健学研究科教授 森山美知子氏
健康への意識改革必要 まずは受診率アップから

―健康経営が広まる背景は。

少子高齢化により、全体的に働く人が高齢化しています。年齢が高いほど健康問題を有する割合が高くなるため、これまでの健康管理だけでは、病気による休職・退職やパフォーマンスの低下が増えることが予測されます。人材確保や活力向上のためにも、積極的に従業員の健康を促す取り組みが必要です。

―健康経営を導入した企業のメリットは。

従業員を財産と捉え、従業員が心身ともに健康だと、これまで以上に戦力になり、業績向上が期待できます。就職活動で、健康経営に取り組んでいるかどうかを判断基準にする学生もいます。イメージアップにつながり、優秀な人材の確保にもなります。

―何から始めていいか分からないという企業もあります。

まずは会社の中でどのような健康問題が起こっているのかを知ることが大切です。喫煙や多量飲酒、メタボなどの基本的な問題に加えて、業種によって生じる特有の健康問題もあるでしょう。その一歩は従業員の健診受診率を知り、受診や治療を促すことから始めてほしいですし、協会けんぽの無料プログラムや、健康コンサルタントを活用するのもよいと思います。

―実践例は。

ある企業では、健診データを分析し、各階に血圧計や体重計、血糖測定器を置いて、個人のポータブルサイトで管理できる仕組みを作りました。また、食堂メニューの改善や社内を自然があふれるようにしました。よく実践されるのは、自動販売機の加糖飲料を止めて無糖のコーヒーサーバーを設置したり、売店の商品を減塩弁当に替えたり。メンタルヘルスの相談室を設置する企業もあります。

―大切なことは。

経営者側が前向きに取り組んでも、従業員がやる気にならない事例もあります。一人一人が自分のこととして捉えられるようになぜ取り組むのかの目的を共有し、企業や行政、協会けんぽなどが一体となり健康づくり対策を進め、意識を変えていくことが必要です。

健康経営とは

従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業が理念に基づき、従業員などへの健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上などの組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されている。

【メリット】
- 従業員の活力、モチベーションアップ
- 欠勤、休職、離職者の減少
- 従業員の業務効率アップによる企業業績の向上
- 健康保険料負担の抑制
- 企業イメージの向上
- 事故や労災発生の予防

全国健康保険協会（協会けんぽ）広島支部長 神田和幸氏
従業員の健康改善で離職率が低下した企業も

―健康経営の重要性は。

協会けんぽ広島支部には、県内約5万1千の事業所が加入しています。その8割が9人以下の事業所。人数が少ない事業所では病気で急に休職、退職をされた時に仕事が回らなくなり、経営に大きな打撃となります。経営者が従業員の健康を管理することは、安定的な事業運営の面からも必要です。

―具体的な取り組みは。

2016年度から健康経営を実践する企業を支援する「ひろしま企業健康宣言」を始めました。ヘルスケア通信簿で従業員の健康状態を把握し、事業所ごとに改善のための目標をまとめたエントリーシートを提出してもらいます。その後、前年の目標の達成状況をチェックシートで報告してもらい、健康づくりの向上を認定する制度です。18年度は約260社が認定されました。宣言に参加する企業も年々増え、3カ年で663社（今年8月末現在）に上ります。

―成果は。

従業員の評判が良い、離職率が低下したとの声を頂き、効果を実感しています。来年は広島大と連携し、健康経営の効果についての調査研究を始めます。

―今後力を入れることは。

広島県など自治体や経済団体と連携を深め、健康宣言をする事業所を増やしたい。健康な人が増えれば、組織の活性化、人材の充実、医療費の適正化にもつながる。健康経営による好循環を広げていきたい。

職場の元気は、地域の元気

健康経営セミナー

主催：アクサ生命保険株式会社　協力：広島県

開催日時 平成30年11月14日(水)
14:00～16:00（受付開始 13:30～）

場所 広島国際会議場　小会議室「ラン」
（住所：広島県広島市中区中島町1-5）

対象者 企業経営者・人事総務ご担当者

定員 50名（定員になり次第、締切）

参加費無料

第1部「健康経営に関する取組について（仮題）」オタフクホールディングス株式会社 代表取締役社長 佐々木 茂喜 氏

第2部「企業に広がる健康経営」株式会社 Next Solution 志田 俊介 氏

第3部「広島県 健康増進関連事業のご紹介」広島県

開催日時 平成30年12月11(火) 平成31年2月8(金) 3月13日(水)
14:00～16:00（受付開始 13:30～）

第1部「少子高齢化を勝ち抜く健康経営」健康経営アドバイザー・社会保険労務士

第2部「広島県　健康増進関連事業のご紹介」広島県

申込 下記メールアドレスに必要事項を記載のうえ、chushikoku-ag.alj@axa.co.jp 宛に送信
健康経営セミナー事務局
（アクサ生命中四国パートナービジネス営業部）行
応募締切／11月7日（水）
お申し込みの方には、後日あらためてご連絡いたします。

記載項目
①会社名
②〒、住所
③電話番号
④Eメールアドレス
⑤参加者氏名
⑥参加者役職
⑦参加希望日
⑧希望参加者数

企画・制作／中国新聞社地域ビジネス局　◆協力：広島県　◆協賛：オタフクホールディングス